

東京言語研究所

2013年度第1回公開講座

東京言語研究所では、広い視野からことばを考えることを主な目的として、公開講座を開催することにいたしました。ことばとかかわりを持つさまざまな分野の第一線で活躍する方々を講師としてお迎えします。

今回は、下記の要領で2013年度第1回公開講座を開催いたします。奮ってご参加ください。

＜演題＞関連性理論と他の語用論との比較

＜講師＞今井 邦彦 氏（東京都立大学名誉教授）

＜日時＞2013年6月29日（土） 14:00～17:00

＜会場＞東京言語研究所（新宿区西新宿 6-24-1 西新宿三井ビル13階）

＜参加費＞一般 1,500 円 学生 1,000 円（当日学生証提示）

（*2013年度理論言語学講座受講生は500円）

※ 支払いは当日現金でお支払いください。

＜申込み＞ホームページ申込みフォームもしくはFAXで下記をご連絡下さい。定数:60名

- ① 公開講座受講希望
- ② 氏名
- ③ フリガナ
- ④ 性別
- ⑤ 住所
- ⑥ 電話番号
- ⑦ Eメールアドレス
- ⑧ 区分（2013年度理論言語学講座受講生・一般・学生）
- ⑨ 所属区分（大学生・大学院生・教員・会社員・その他）

（この情報は受講手続きにのみ使用いたします。）

＜講師紹介＞

1934年東京生まれ。1957年東京大学文学部英吉利文学科卒業。東京都立大学教授、学習院大学教授を経て、現在は東京都立大学名誉教授。文学博士。専門は音声学・統語論・語用論。

著書に *Essentials of Modern English Grammar*（共著 研究社出版）、『英語の使い方』語用論への招待』（以上大修館書店）、『ファンダメンタル音声学』『あいまいなのは日本語か、英語か？』（以上ひつじ書房）、『ことばの意味とはなんだろう』（共著 岩波書店）。訳書に『ことばの意味とはなにか』（François Recanati: *Literal Meaning* 訳 新曜社）、『最新語用論入門12章』（Deirdre Wilson et al.: UCL Lecture Notes 監訳）。

問合せ先 東京言語研究所

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル16階

TEL:03-5324-3420

FAX:03-5324-3427 ホームページ: <http://www.tokyo-gengo.gr.jp/>

【講義要旨】

関連性理論(RT)は最も成功しつつある語用論理論と考えられる。この理論の特徴を概観し、近過去および現在の他の語用論理論を批判的に検討する。

I. 関連性理論 (Relevance Theory: RT) の特徴

1. “真理条件的意味論 (truth-conditional semantics)” からの訣別。
2. 「言語的意味は、伝達される意味を下回る」というテーゼに立脚。
3. 伝達される意味 (話し手の意味) を獲得する語用論過程を生得的な「心の理論 (theory of mind)」による module 的解釈過程と捉える。

◎語用論過程: 明意 (表意) と暗意 (推意) の獲得過程

II. 発話行為論 (Speech Act Theory)

Austin が創始した発話行為理論は Searle によって引き継がれ、後にモデル理論的意味論やモンタギュー意味論と合体したが、本質的な限界がある。

III. グライス(P.Grice)の語用論

1. 発話解釈にあたり聞き手による推論 (inference) が不可欠であると主張。
2. Grice 理論: 協調の原理 (Cooperative Principle) と 4つの格率 (maxims)
3. Grice 理論の問題点: RT の主張する「語用論過程 module 論」とは無縁。

IV. 新グライス派 (Horn と Levinson)

新グライス派の「原理」はグライスの原理+格率を超えるものではない。

V. 認知言語学(Cognitive linguistics)・認知文法(Cognitive Grammar)

1. 認知言語学は、「独立した言語機能 (language faculty) の存在を否定し、言語に関する諸能力 (linguistic abilities) のための特殊な心的構築物は存在しない」と言う前提に立っている。
2. したがって認知言語学は、RT と違って発話解釈のための語用論過程が module であることを認めない。この差を解消する道はあるだろうか?
3. 認知言語学者によれば「言語を研究することにより、認知一般を洞察することが可能になると期待できる」という。
4. メタファーとメトニミーのような修辭的表現が、思考の基本的傾向を言語的に反映したものであるとする認知言語学の主張の意義は何であろうか。